

**第2期ロジスティクス環境会議
第5回CO2削減推進委員会 議事録**

I. 日 時：2007年5月22日（火） 10：00～11：30

II. 場 所：東京・港区 芝パークホテル 本館3F 牡丹

III. 出席者：37名

IV. 内 容：

- 1) 2007年度の活動内容について
- 2) 各WGの活動について

V. 開 会

事務局より開会が宣された後、増井委員長より2006年度成果物作成に対する御礼と2007年度の委員会活動への積極的な参画の要請がなされた後、増井委員長の司会のもと、以下のとおり議事が進められた。

VI. 報 告

事務局より、資料1、参考資料1に基づき、3月15日に開催された第2回本会議での決定事項についての報告がなされた。

VII. 議 事

1) 2007年度の活動内容について

事務局より、資料2に基づき、2007年度の活動内容について説明が行われ、以下のような意見交換がなされた後、了承された。

【主な意見】

(WGについて)

委 員：WGを設置し、議論を深めることは賛成であるが、委員会とWGを同一日に開催し、かつWG検討内容を当日の委員会で報告することが物理的に可能かどうかご教示いただきたい。

事務局：グリーンサプライチェーン推進委員会では、委員会開催時に2つの分科会で検討を進め、最後の10～15分で当日の各分科会検討事項の報告という形で運営していることから、特に問題ないと考える。

副委員長：「最初の30～40分で問題提起を含めた形で事例を発表いただき、その後、メンバーで課題の整理と解決方策の検討を実施する」という方法も1案だと考える。

(定期報告書及び計画書の収集について)

委 員：改正省エネ法の定期報告書及び計画書の提出は必須かどうか教えていただきたい。

事務局：強制ではなく、御協力いただける範囲でお願いすることとなる。

委員長：定期報告書及び計画書に関しては、数値データの集計が目的であるが、作成する上での問題点、課題の収集ということも重要な目的だと考えることから、可能な範囲で御協力いただきたい。

委 員：当委員会メンバー以外についても、定期報告書及び計画書の収集を実施するかどうか教えていただきたい。

事務局：本日当委員会で了承された後、6月1日に開催される企画運営委員会において、環境会議全メンバーを対象に実施する旨、提案する予定である。

2) 各WGの活動について

事務局より、資料3-1、3-2、3-3に基づき、モーダルシフトWGの検討の流れ（案）について説明が行われた後、資料4-1、4-2、参考資料2に基づき、燃費向上WGの検討の流れ（案）について説明が行われ、以下のような意見交換がなされた。

【主な意見】

委員長：WGにおいては、委員会メンバー企業の経験をふまえて発表等をいただくとともに、問題点の抽出とその対策の検討を実施したいと考える。

（燃費向上WGについて）

委員：当社では関係会社を含めたエコドライブ活動に力を入れているが、ドライバーが改善した燃費値を維持することは難しいと感じている。また、ドライバーにエコドライブの意識を持たせる上では、環境のみならず安全とリンクさせることが有効だと考えており、そのあたりも踏まえて検討できればと考える。

委員：燃費向上という視点で考えると、ハードはツールの1つに過ぎず、ドライバーの意識向上へつながるような教育が最も重要だと考える。また、トラック事業における委託、再委託といった多重構造の中、どこまで意識付けができるかといったところは今後の課題だと考える。

委員：トラックメーカーの立場として、10数年前からエコドライブ講習を実施していることから、いろいろな面での情報提供は可能だと考える。また、輸送事業者のエコドライブ活動に対する荷主の評価ということが今後ポイントになるのではないかと考える。

委員：同WGの検討事項の1つとして低公害車について提案されているが、価格やインフラ、実使用上の課題といった広い視点での検討が必要ではないかと考える。

委員：デジタコの規格がメーカーごとにバラバラであるが、これは省エネ法におけるデータ算定に影響を与えると考えられることから、検討テーマに載せてはどうかと個人的に考える。

（モーダルシフトWGについて）

委員：事務局案では鉄道に焦点をあてることとなっているが、資料3-2の内容を確認すると「船舶に課題があり鉄道に変更した」という事例もあることから、件数で判断するのではなく、初回のWGにおいてメンバーの意向を聞いた上で、活動内容の検討をした方がよいと考える。

【決定事項】

・WGの大枠のテーマは事務局案どおりとするが、追加項目、また詳細については、第1回WGで検討することとする。

3) 今後のスケジュールについて

事務局より、資料5-1に基づき、WGへの登録について説明がなされた。続いて、資料5-2に基づき今後のスケジュールについて説明がなされ、次回委員会及びWGが6月29日（金）14時-17時の日程で開催されることとなった。なお、WGの登録、及び次回委員会の詳細については、事務局よりメールにて連絡することとなった。

VIII. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、増井委員長は閉会を宣した。

以上